

令和元年度 月潟地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和元年8月3日（日） 15:00~17:10

◆開催場所：月潟地区公民館 2F 大会議室



〈質疑概要〉

地域包括ケアシステムについて

発言： 支えあいのしくみづくりの第2層は、どういう役目になればいいのか。

回答： 第2層は、皆さんが本当に地域で困っていることをまとめて、どういうサービスを受けられるようにしたらいいのかを考えていただき、それをまとめるのが生活支援コーディネーターです。地域で地域の課題を解決する仕組みをつくり、推進員の力を借りながら実現していただきたいと思えます。

発言： 市は、自分たちでシステムつくりなさい、金は一切だしませんだが、事業に携わる人の人件費や補助金制度があってもいいのではないかと。

回答： 訪問型生活支援をする場合には、月2万円の運営経費と初年度のみ上限20万円の初期費用の出る制度がありますし、週1回の地域の茶の間であれば月2万円の助成もありますので、そういったものを活用しながらやっていただければと思います。

発言： 地域に丸投げをしないで、もう少し行政がしっかり考えてもらいたい。

回答： 介護保険の保険料をこれ以上あげられないという認識のもとで、地域包括ケアは、地域皆で支えてもらえば、サービスの量も減るし、保険料も上げなくてもよくなるよねというのが国の考え方です。行政が皆さんに押し付けているわけではなく、皆さんから地域での助け合いの必要性を理解した上で頑張ってくださいと思います。

農業法人について

発言： お金をかけて農業法人を拡大することは地域をダメにする。家族農業を育てることも一つの柱にしてもらいたい。

回答： 農業機械など個人農家の経費削減のためには、集約化して大きな農家や農業法人をつくる必要との国の考え方があります。家族農業を否定しているわけではありません。

芝桜の植栽について

発言： 旧月潟駅の登り坂脇の芝桜をボランティアで育てているが、草刈などで花壇の一部が被害を受けた。苗の購入に係る助成など対応してもらえないものか。

回答： 建設課で対応させていただきますので、あとで相談させてください。